臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院の診療情報を用いる研究についてお知らせします。情報の使用を望まれない場合は、下記の窓口へお申し出ください。

研究課題

杖、装具使用の脳卒中片麻痺患者における二動作歩行と三動作歩行の予測因子の検討

研究機関と研究責任者

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　山本 敢大

研究の対象と期間

対象：杖や装具を使用する脳卒中片麻痺の患者さん
対象となる期間：2025 年 8 月 13 日～2028 年 8 月 13 日
研究実施期間：2025 年 8 月 13 日～2028 年 8 月 13 日

研究の目的

二動作歩行と三動作歩行に関連する要因を調べ、歩行支援に役立てることを目的とします。

研究の方法と使用する情報

診療情報を用いて、上記の目的について解析します。
使用する情報：年齢、性別、脳卒中の病型、麻痺側、発症から評価までの日数、下肢の麻痺の程度（BRS 等）、感覚障害、バランス（BBS）、歩行自立度（FAC 等）、歩行速度、使用する杖・装具の種類、二動作・三動作歩行の区分と評価時期。

個人情報の保護

氏名などの個人を直接特定できる情報を除いて解析し、情報は適切に管理します。研究結果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人または代理の方から、下記窓口へご連絡ください。お申し出によって診療上の不利益が生じることはありません。解析・公表の状況により、情報を除外できない場合があります。研究資料の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科　山本 敢大
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10
電話：011-891-2500（代表）

臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院の診療情報を用いる研究についてお知らせします。情報の使用を望まれない場合は、下記の窓口へお申し出ください。

研究課題

個人用長下肢装具の作成有無が歩行自立および退院時歩行速度に与える影響の検討

研究機関と研究責任者

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　佐藤 佑太郎

研究の対象と期間

対象：長下肢装具の使用を含む歩行リハビリテーションを受けた患者さん
対象となる期間：2025 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 28 日
研究実施期間：2025 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 28 日

研究の目的

個人用長下肢装具の作成の有無と、歩行自立や退院時の歩行速度との関係を調べます。

研究の方法と使用する情報

診療情報を用いて、上記の目的について解析します。
使用する情報：年齢、性別、脳卒中の病型、麻痺側、発症から入棟までの日数、入棟時の下肢麻痺・バランス・歩行自立度、個人用長下肢装具の作製の有無と時期、備品装具の使用、短下肢装具への移行時期、退院時の歩行自立度・歩行速度・杖と装具の使用状況、入院期間。

個人情報の保護

氏名などの個人を直接特定できる情報を除いて解析し、情報は適切に管理します。研究結果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人または代理の方から、下記窓口へご連絡ください。お申し出によって診療上の不利益が生じることはありません。解析・公表の状況により、情報を除外できない場合があります。研究資料の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科　佐藤 佑太郎
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10
電話：011-891-2500（代表）

臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院の診療情報を用いる研究についてお知らせします。情報の使用を望まれない場合は、下記の窓口へお申し出ください。

研究課題

回復期脳卒中患者に対する機能予後影響因子の探索と予後予測モデルの開発に関する他施設共同縦断研究

研究機関と研究責任者

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　佐藤 佑太郎

研究の対象と期間

対象：回復期リハビリテーションを受けた脳卒中の患者さん
対象となる期間：2025 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 28 日
研究実施期間：2025 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 28 日

研究の目的

機能の回復に関係する要因を調べ、機能の見通しを予測するモデルの開発を目指します。

研究の方法と使用する情報

診療情報を用いて、上記の目的について解析します。
使用する情報：年齢、性別、脳卒中の病型・病巣・麻痺側、発症から入棟までの日数、発症前の生活動作・歩行自立度、併存疾患、下肢運動機能、感覚機能、認知機能、バランス、歩行自立度・歩行速度、FIM、入院期間、退院先、評価時期。予測に用いる入棟時情報と、予測対象となる退院時等の情報を区別します。

個人情報の保護

氏名などの個人を直接特定できる情報を除いて解析し、情報は適切に管理します。研究結果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人または代理の方から、下記窓口へご連絡ください。お申し出によって診療上の不利益が生じることはありません。解析・公表の状況により、情報を除外できない場合があります。研究資料の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科　佐藤 佑太郎
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10
電話：011-891-2500（代表）

臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院の診療情報を用いる研究についてお知らせします。情報の使用を望まれない場合は、下記の窓口へお申し出ください。

研究課題

重度麻痺を呈する脳卒中者の退院時における歩行自立の BBS のカットオフ値について

研究機関と研究責任者

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　原田 萌花

研究の対象と期間

対象：重度の麻痺がある脳卒中の患者さん
対象となる期間：2023 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 4 日
研究実施期間：2023 年 11 月 28 日～2027 年 11 月 4 日

研究の目的

退院時のバランス評価（BBS）と歩行自立との関係を調べ、歩行自立の判断に役立つ基準値を検討します。

研究の方法と使用する情報

診療情報を用いて、上記の目的について解析します。
使用する情報：年齢、性別、脳卒中の病型、麻痺側、発症から退院までの日数、退院時の下肢麻痺の程度（BRS 等）、BBS の合計点・各項目点、歩行自立度（FAC または FIM 歩行項目等）、歩行時の介助・見守りの有無、使用する杖・装具、認知機能。歩行自立の判定基準と評価時期を明確にします。

個人情報の保護

氏名などの個人を直接特定できる情報を除いて解析し、情報は適切に管理します。研究結果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人または代理の方から、下記窓口へご連絡ください。お申し出によって診療上の不利益が生じることはありません。解析・公表の状況により、情報を除外できない場合があります。研究資料の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科　原田 萌花
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10
電話：011-891-2500（代表）

臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院の診療情報を用いる研究についてお知らせします。情報の使用を望まれない場合は、下記の窓口へお申し出ください。

研究課題

中等度～重度の片麻痺症例に対する Berg Balance Scale 改項目の Keyform 作成と Rasch 分析により臨床的応用の可能性の検討

研究機関と研究責任者

医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　佐藤 佑太郎

研究の対象と期間

対象：中等度～重度の片麻痺がある患者さん
対象となる期間：2025 年 6 月 12 日～2027 年 6 月 12 日
研究実施期間：2025 年 6 月 12 日～2027 年 6 月 12 日

研究の目的

バランス評価の結果を分かりやすく示す Keyform を作成し、Rasch 分析を用いて臨床での活用可能性を検討します。

研究の方法と使用する情報

診療情報を用いて、上記の目的について解析します。
使用する情報：年齢、性別、脳卒中の病型、麻痺側、発症から評価までの日数、下肢麻痺の程度、BBS の各項目点・合計点、変更・追加した評価項目の内容と得点、歩行自立度（FAC 等）、評価時期、評価者の区分。繰り返し評価する場合は、同一対象者の評価を結び付ける研究用番号も使用します。
※候補のうち、研究計画書で定め、実際に収集・解析する項目のみ記載してください。

個人情報の保護

氏名などの個人を直接特定できる情報を除いて解析し、情報は適切に管理します。研究結果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人または代理の方から、下記窓口へご連絡ください。お申し出によって診療上の不利益が生じることはありません。解析・公表の状況により、情報を除外できない場合があります。研究資料の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科　佐藤 佑太郎
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10
電話：011-891-2500（代表）

臨床研究に関する情報公開文書

新さっぽろ脳神経外科病院の患者さんとご家族へ

当院では、以下の研究を行います。ご自身の診療情報の使用を望まれない場合や、ご不明な点がある場合は、下記の窓口へご連絡ください。

研究課題

回復期リハビリテーション病棟に入棟した患者を対象とした退院時 FIM 予測モデルの開発と多施設共同による外的妥当性の検証

研究機関と研究責任者

研究代表機関：北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科
研究代表者：松田 涼（助教）
共同研究機関：医療法人 脳神経研究センター 新さっぽろ脳神経外科病院
自機関の研究責任者：リハビリテーション科　山田尚幸

研究の対象と期間

対象：2020 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に、当院の回復期リハビリテーション病棟に入棟した患者さん
研究実施期間：2026 年 6 月 18 日～2028 年 12 月 31 日

研究の目的

入棟時の情報から、退院時の日常生活動作の自立度（FIM）を予測するモデルを作成し、複数の施設のデータで予測の確かさを検証します。目標設定やリハビリテーション計画に役立てることを目指します。

研究の方法と使用する情報

過去の電子カルテの情報を用いる研究で、新たな検査や介入は行いません。年齢、性別、疾患名、発症から入棟までの日数、回復期病棟入院期間、入棟時・退院時の FIM 全 18 項目、死亡退院の有無を使用します。脳卒中、廃用症候群、運動器疾患の各群について、機械学習などにより予測モデルを作成・解析します。
使用する情報：疾患名の分類、発症・入棟・退院に関する日数、入棟時・退院時の FIM 各項目点（運動 13 項目・認知 5 項目）、死亡退院の有無、施設を区別する研究用コード。

個人情報の保護

氏名やカルテ ID など、個人を直接特定できる情報を除いて北海道科学大学に提供し、適切に管理します。提供先の研究者は、個人を照合する手段を保有しません。研究成果は、個人が特定されない形で学会や学術雑誌等に公表します。

情報の使用を望まれない場合

患者さんご本人またはご家族から、公開日から 60 日以内に下記へご連絡ください。情報の使用をお断りしても、不利益はありません。研究計画書等の閲覧をご希望の場合もお問い合わせください。個人情報や研究の独創性の保護に支障がない範囲で対応します。
本研究は、北海道科学大学および当院の倫理委員会の承認を受けて実施します。

お問い合わせ先

新さっぽろ脳神経外科病院 リハビリテーション科
研究責任者・連絡担当者：山田尚幸
〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央 1 条 6 丁目 2-10　電話：011-891-2500（代表）
研究代表者：松田 涼　北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科 助教
〒006-8585 札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1　電話：011-688-7197